授業づくり研修講座　実践レポート

　相武台東小学校　　氏名　山本　亮

単元名　　第６学年　　「　よさを伝える広告　」

実践のポイント（工夫）

・目的や意図に応じて，書く事柄を収集し，全体を見通して事柄を整理すること。

・表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

・児童が書きたいと思う内容を取り入れていくこと。

実践内容

|  |
| --- |
| ◯教材文の広告や集めた広告について，表現方法やよさについて話し合う。　・二つの広告を読み，どちらの広告がいいと思うか。また，その理由を考える。◯新聞広告や映画のポスター，ＣＭなどを参考に表現の工夫やよさを話し合い，広告作りに大切　なことについて話し合う。　・身近なもののキャッチコピーからよさを見つける。（映画・ＣＭ・広告・本）◯身近な存在である，６年生の４人の担任の先生についての広告を考える。　・５年生のクラスで集まり，エピソードを探る。　・先生の特徴を捉え，キャッチコピーを作る。◯それぞれの情報を共有し，キャッチコピーをもとに表現方法を考えながら広告を書く。　・図案などを考えながら書く。◯完成した広告を見合いながら，それぞれのよさについて感想を交流する。 |

振り返り（成果や課題）

・児童が書きたいと思う題材を選んだので，多くの児童が興味をもって取り組むことができた。

・５年生のクラスでの話し合いでは，振り返りながらエピソードをまとめることができた。

・図案などを交流し，助言や提案を出し合いながら行った方が，よい表現方法の児童の作品を参考にすることができた。